羅臼町議会だより

しれとこ

令和８年
第187号
８月25日

令和８年第２回臨時会・第２回定例会・第３回臨時会 …… ２～５
一般質問 …… ６～８
議会サポーターの声から …… ９
Zoom・up！ …… 10～11

令和8年　第2回臨時会

５月22日、令和８年第２回臨時会が開催され、専決処分した事件の承認４件、令和８年一般会計補正予算、条例改正３件、工事請負契約の締結２件が上程され原案通り可決した。

専決処分

	補　正　額	総　　額
令和７年度一般会計	3億2,234万9千円	63億7,318万円
令和７年度国民健康保険事業特別会計	2,911万6千円	90億991万4千円
令和７年度介護保険事業特別会計	5,927万5千円	4億4,793万6千円
令和７年度国民健康保険診療所事業特別会計	246万2千円	2億866万4千円

令和８年度一般会計補正予算

補正額 1億9,136万5千円　総額 66億4,666万5千円

商工費	ホームページ改修委託料	350万円
	温泉供給に要する経費	1億3,822万2千円
	自然とみどりの村施設管理に要する経費	3,745万5千円
教育費	幼稚園の統合に要する経費	1,218万8千円

羅臼温泉改修事業　115,500千円

町では令和３年３月にゼロカーボンシティを宣言。実現に向けて推進を図っており、現在、パートナー事業者を中心に地熱発電の導入を目指しているが、現在の温泉送水管の口径では増産となる温泉水を送水することができず、また設置から30年以上経過し老朽化が著しく、劣化により破損が発生していることから、地域内の温泉供給量を増加させ、さらなる有効活用と地熱発電の導入を実現するため、温泉送水管の改修工事のため改修設計を行う経費。

オートキャンプ場水道管工事実施設計委託　14,311千円

羅臼オートキャンプ場（幌萌町）の水源を確保し、利用者がシャワーや手洗い場を使用する水道管を、農業体験実習館から管理棟まで延伸する工事の実施設計委託を行う。

オートキャンプ場管理棟改修工事　23,144千円

現在使用できないシャワーの供用開始を目的とした更衣室やシャワー設備の改修工事および管理棟の改修工事を行う。併せて各備品の保管・管理を目的としたシャッター式物置を設置する。

条例改正

○職員の給与に関する条例の一部改正
※宿日直勤務手当額の変更
○羅臼町町税条例の一部改正
※「個人住民税」「固定資産税」「軽自動車税」の所得控除額、固定資産税の免税額等の変更
○羅臼町国民健康保険税条例の一部改正
※国民健康保険税の課税限度額の変更

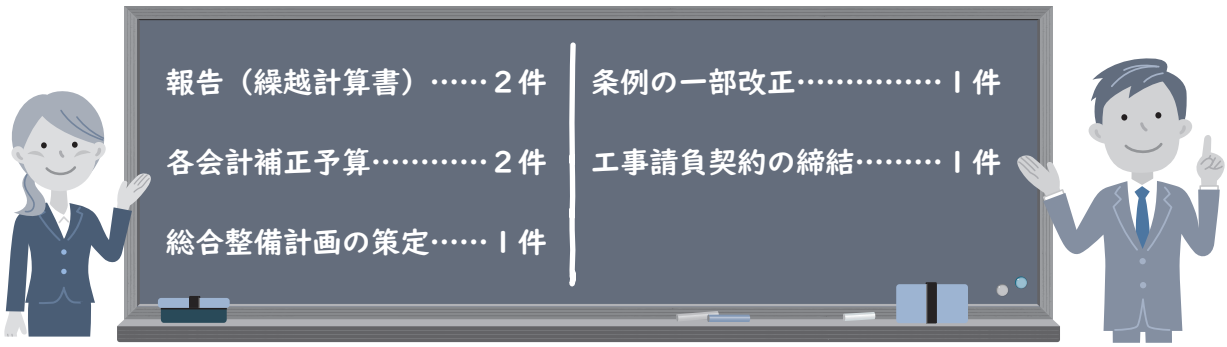
工事請負契約の締結

○知床未来小学校・知床未来幼稚園改修工事
（契約の目的）
（契約金額）
六億五〇〇万円
島影・小野特定建設工事共同事業体
（契約の目的）
○羅臼町町営住宅緑町団地建設工事（C号棟）
（契約金額）
二億六、九〇六万円

廣木・小川特定建設工事共同事業体

令和8年　第2回定例会

去る６月16日～18日、令和８年第２回定例会が開催され、令和８年度各会計補正予算および条例改正等をすべて原案通り可決した。



報告

令和７年度一般会計繰越明許費	生活応援商品券配布事業	4,272万円
	物価高対応子育て応援給付金事業	108万円
令和７年度水道事業会計予算繰越	建設改良費	2,761万円

令和８年度一般会計補正予算

補正額 **6,627万8千円**　総額 **67億1,294万3千円**

総務費	各種積立金	1,110万円
	地域振興に要する経費	45万1千円
	戸籍電算システムに要する経費	14万9千円
	防災行政無線管理に要する経費	93万6千円
	防災対策に要する経費	72万円

民生費	障がい者自立支援事業に要する経費	46万5千円
衛生費	水道事業会計操出金	2,044万8千円
	子ども医療費助成事業に要する経費	89万1千円
	野生鳥獣保護管理に要する経費	80万円
商工費	温泉設備改修工事	374万円
教育費	教育支援に要する経費	2,657万8千円

令和８年度ヒグマ対策会議運営等業務委託　委託料：800千円（羅臼分）

知床地域及び近隣市町村で開催されるヒグマ対策関連会議の開催及び会場設営等運営補助。

町内利用拠点におけるヒグマ出没状況の把握（羅臼岳登山道・羅臼湖歩道・熊越の滝遊歩道、羅臼温泉園地歩道、英嶺山登山道、望郷の森自然散策路）斜里町８割、羅臼町２割

令和８年度水道事業会計補正予算

補正額3,748万8千円　総額 1億5,157万5千円

建設改良費	羅臼温泉集団施設地区内配水設備移転事業実施設計業務委託

条例改正

○羅臼町過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正

※特別措置法の公布に伴う条例改正

工事請負契約の締結

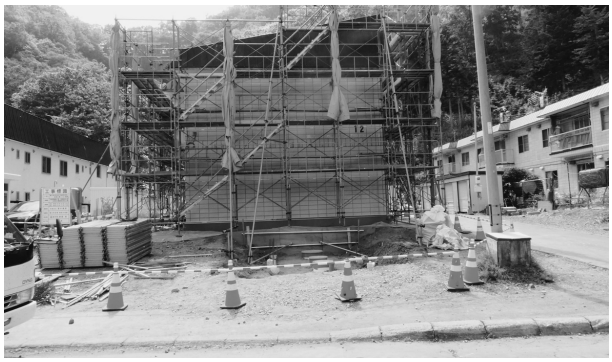
（契約の目的）

羅臼町町営住宅緑町団地改修工事（12号棟）

（契約金額）

一億一、一七三万八千円

有限会社　酒井建設



計画策定

○辺地に係る公共的施設の総合整備計画

(1)　辺地の概況

羅臼町峯浜町・幌萌町

(2)　公共的施設の整備を必要する事情

観光又はレクリエーションに関する施設

（羅臼オートキャンプ場）

(3)　公共施設の整備計画

令和八年度から令和十二年度までの五ヵ年間

(4)　事業費

五、三八三万五千円

令和8年　第3回臨時会

羅臼高等学校の全国公募に伴う高校生寮

物件名　旧小規模多機能の家（しおかぜ）
所在地　羅臼町共栄町17番地1
所有者　釧路町曙１丁目２番地14
氏　名　有限会社Ｍ＆Ｙ　代表取締役　走上　敬太

７月14日に開催された第３回臨時会の議案は「高校生地域留学に伴う学生寮を整備し、受け入れに必要な居住環境を確保するため」の財産取得で、羅臼町共栄町22番地２及び17番地６、土地の合計金額は3,503,000円、建物は羅臼町共栄町22番地２、金額は12,925,000円、この財産の取得に対し、議場において審議し多くの質問と討論を経て、賛成多数にて可決されました。

令和８年 第２回定例会 一般質問

「ここが聞きたい」一般質問Ｑ＆Ａ

議員は毎年３月・６月・９月・12月に開催される定例会で、町政全般に対し、質問することができます。これを「一般質問」と言います。

今回は３名の議員が質問しました。

本文は、質問した議員本人の責任で執筆（要約）した原稿を掲載しています。

山下　竜哉 議員

羅臼高校の存続について

知床の自然環境を守る人材育成と、羅臼高校の役割について

質問

世界自然遺産・知床という地域資源を活かした教育を継続し、将来を担う人材を育成するうえで羅臼高校が果たすべき役割を町としての位置づけ、また学校存続のための方向性と具体的な考えを伺います。

道立高校としての存続を基本に、支援を継続していきます

石﨑教育長

羅臼高等学校は、町内唯一の高校として地域の将来を担う人材育成に重要な役割を果たしております。

これまで「北海道羅臼高等学校存続問題協議会」での議論を経て、地域連携校として魅力ある高校づくりを進めてまいりました。

現在は、地域との連携・協働を深めながら、生徒の多様な学習ニーズに対応した教育活動を推進し、生徒に選ばれる学校づくりに取り組んでおります。

町としても、高校魅力化に向けた各種支援や全国公募事業に取り組み、今後も「道立高校」としての存続を基本に支援を継続してまいります。

全国公募に向けた体制整備について

質問

全国公募により高校存続に向け、寮や生活支援、安全確保や通学等々の受け入れ態勢の整備が現時点でどこまで進んでいるのか。

また、町が認識している課題とその解決に向け具体的な対応方針を伺います。

全国公募に向け、寮整備と運営体制構築を早急に推進していきます

石﨑教育長

全国公募に向けた受入体制については、これまで下宿を優先し公募してきましたが応募が無く苦慮しておりましたが、現在は適所な物件を取得し学生寮として整備を進めております。

併せて、生徒の安全管理や寮の運営体制、入寮ガイドラインの整備を進めるため、「地域活性化企業人制度」を活用し、生活支援や食事提供の体制構築を早急に進めてまいります。

羅臼高校の出口戦略強化に向けた町内外連携と進路支援の在り方について

質問

出口戦略の視点から、町内外の連携を生かした進路支援の現状と今後の方向性について伺います。

出口戦略の観点から具体的な支援策は町としての考えはありません

石﨑教育長

進学や就職は生徒自身が主体的に決定するものと考えており、町独自の出口戦略は設けておりません。

大学との連携で一例を挙げますと、本年度開設された立教大学環境学部に指定校推薦枠をいただき、羅臼高校より一名入学しております。

また、町としては引き続き、各種講習会費用の助成や海外語学研修費用の助成など進路実現に向けた支援を継続してまいります。

浜岸　昭仁 議員

野遊びフィールドについて

質問

令和二年度以降多額の公費を投じて整備・開発が進められてきました。しかしながら、現在の収益状況が明確に示されておらず、運営については委託業者に任せっきりとなっているようです。本来、この施設は町の重要な財産であり、その活用に伴う収益は町に還元されるべきものと考えます。私も含め、町民は本施設に数千万円規模の予算が投じられていることを認識しており、管理・運営の実態や収益の扱いについて、詳細な説明がされていないことに不信感を抱いております。

今後、委託業者に対して施設利用料を求めていかないのか、運営の透明性をお伺いします。

運営事業者に対して施設利用料を負担していただく予定

湊屋町長

知床の自然環境を生かした滞在型観光の拠点として観光客の長期滞在を促進することで、町内での消費拡大や地域経済への波及効果を創出することを目的としております。利用者の更なる利便性向上を図るため、前年度には管理棟にトイレ及びシャワー設備を増設し、キャンプ場として運営するために必要な施設整備が完了したところです。

施設整備が完了し運営環境が整ったことにより、今年度から運営事業者に対して利用料を負担していただく予定となっております。

再質問

利用料の負担はいつから、料金はいくらですか。

町づくり担当・伊藤課長

今年六月より、一ヶ月三万円、年間だと六月から十月までの五ヶ月間の営業で十五万円の予定となっております。

幌萌町オートキャンプ場について

質問

水や給湯施設の整備を始め、シャワー・水道工事・管理棟補修工事など、施設内で利便性向上のための改修が進められております。利用客も年々増加している一方で、経営状況は赤字決算と伺います。現在は、管理者を別途雇用し管理委託料を支払っているものの、利用料収入だけでは賄えていない状況です。赤字解消に向け、利用料金の見直しや運営体制の検討が必要と考えますが、具体策をお伺いします。

利用料金について検討していく必要があると考えます

湊屋町長

施設の維持管理には管理委託料のほか、光熱水費や修繕費などの経費を要しており、利用料金の収入のみで運営経費を賄うことは難しい状況にあります。

オートキャンプ場は単に収支のみで評価する施設ではなく、町外からの宿泊や飲食、買い物など地域経済への波及効果や、観光振興の観点からも重要な役割を担っていると考えています。

利用料金につきましては、近隣自治体の類似施設の料金水準や利用ニーズ、施設の維持管理経費などを総合的に勘案しながら検討していく必要があると考え、今後適正な受益者負担の在り方について調査・検討します。

再質問

収入について、令和七年・六年・五年と直近三年間を見ますと、収益の利用料金よりも管理委託料の方が年間一〇〇万円から一五〇万円程足りない現状です。昨年を例に挙げますと、三、一〇〇人以上利用者がおりますので、一人あたり三〇〇～四〇〇円程度の値上げをすることで赤字解消できると思いますが、どのように考えるのかお伺いします。

川端副町長

町としましても、赤字にならないような運営体制にするべきだと思っております。スノーピーク社トレーラーハウス「住箱」は、今までシャワーや水の設備が不十分だったため使用できませんでしたが、今年度から整備され次第、使用可能となりますので、利用料金の一泊一二、〇〇〇円分がこれまでより増収となる予定であります。

再質問

キャンプ場利用者は、羅臼町に来る前に他の町で買い物を済ませて来る方が多いので、キャンプ場内に道の駅や海鮮工房のような店舗で羅臼の海産物を販売し、キャンプ場で食べられるようにしていただきたいと考えます。

川端副町長

キャンプ場管理棟補修後には、そこで町内の海産物を販売することを検討し予定はしておりますが、今のところ人員確保も出来ておらず、確約はできておりません。

米井　宏喜
議員

多様な観光スタイルに対応した自転車観光の受け入れ環境整備について

羅臼町では、レンタサイクル事業やサイクリングマップの作成が行われています。一方で、走行距離や所要時間・休憩場所・トイレ・給水・緊急時の連絡先など、実際に走る人が必要とする情報には充実の余地があります。大きな予算をかけるのではなく、既存の事業・観光施設・町内事業者・人材を活用し、少しずつ受け入れ環境を磨き上げる観点から質問しました。

サイクリングマップの充実について

質問

現在のサイクリングマップに、走行距離・所要時間・坂道や注意箇所・トイレ・給水・休憩場所・空気入れ等の補給できる店舗・緊急時の連絡先などを加え、より実用的なマップへ更新する考えはありますか。

サイクリング情報整備を検討

湊屋町長

サイクリングは、地域の自然・食・文化をゆっくり体感できる観光スタイルとして人気が高まっています。羅臼町は魅力的な資源を有する一方、アップダウンの多い地形、空気入れ等の補給ポイントの少なさ、天候変化の大きさなどから、事前情報が重要です。利用者の意見や他地域の事例も参考にしながら、既存マップの見直しやデジタル情報との連携を含め、実用的な情報発信を検討していきます。

羅臼版サイクルオアシスの整備について

質問

他自治体では、サイクルスタンド・空気入れ・簡易工具・トイレ・給水・休憩場所などを備えたサイクルオアシス等の設置事例があります。羅臼町でも、既存施設や町内事業者と連携し、同様の仕組みを整備する考えはありますか。

サイクルオアシス整備を検討

湊屋町長

サイクリストが気軽に立ち寄り、休憩や情報収集、簡易的なサポートを受けられる環境づくりは、滞在満足度の向上や地域内消費の拡大につながる有効な取り組みです。道の駅・観光施設・宿泊施設・ガソリンスタンドなど既存資源を活用することが現実的かつ効果的であり、観光協会や関係団体、民間事業者と意見交換をしながら検討していきます。

トラブル発生時の簡易サポート体制と協力者リストについて

質問

羅臼町には自転車店がないため、パンクや機材トラブル、体調不良などの際、観光客がどこへ相談すればよいか分かりにくい状況があります。協力可能な人材や事業者を把握し、必要な時につなぐ仕組みを検討する考えはありますか。

相談先・連絡先の周知を検討

湊屋町長

パンクや機材トラブル、体調不良などへの迅速な対応は、観光客が安心して本町を訪れるための重要な要素です。自転車専門店がないため、本格的なロードサービスは難しい状況ですが、観光協会・レンタサイクルを取り扱うガソリンスタンド・宿泊施設など既存の民間事業者との連携により、相談先や連絡先を整理して周知することは有効であり、実施可能な範囲で情報提供のあり方を検討していきます。

米井議員の意見

今回の質問は自転車観光を入口としていますが、これは今後の羅臼町の観光全体に通じるものだと考えています。

職員数も町民人口も減少していく中で、行政だけで新しい施設や事業を増やしていくことは難しくなっていきます。だからこそ、今ある観光施設・町内事業者・人材などを、官民一体となって磨き上げていくことが重要だと考えます。

羅臼町には、知床の自然、人の温かさなど、すでに素晴らしい資源があります。それを私たち自身が理解し、訪れる人に分かりやすく伝え、居心地の良さを実感してもらうことが、今後の観光地としての価値につながるのではないでしょうか。

自転車で来る人には、走行距離や給水場所・休憩場所・困った時の相談先を分かりやすく示すこと、こうした先回りした小さな配慮は、羅臼らしいおもてなしの心にも通じるものだと思います。

議会サポーターの声から《開かれた議会》へ

第二回議会サポーター会議では、議会をより身近に感じてもらうための情報発信や、町民の声を議会活動にどう反映していくかについて、率直な意見交換が行われました。主な意見は次のとおりです。

・議会YouTubeは、議場に来られない人も好きな時間に見られる点が良い。一方で、再生時間が長いと視聴のハードルが高くなるため、一般質問ごとの分割や、説明欄への時間表示など、見たい部分にたどり着きやすい工夫が必要。

・議会だよりに一般質問のQRコードを掲載し、紙面と動画を連動させると良い。

・議会だよりは一般質問に偏らず、予算・審議結果・賛否・委員会活動など、議会全体の動きが見える内容にしてほしい。

・町民の関心が高い課題は、結論だけでなく、検討経過や論点をわかりやすく伝えることで安心感につながる。

・学校統合や公共施設の活用など、町民生活に関わる大きな課題は、決定後ではなく、早い段階から情報共有と意見聴取を行うことが重要。

・議会には、町民の声を受け止めて、行政に届ける役割をよりしっかりと果たしてほしい。

個別の課題に対する意見も多く出されましたが、その根底には「情報が届きにくい」「決定までの過程が見えにくい」という共通した課題がありました。こうした声を議会改革の視点で受け止め、町民に伝わる情報発信、意見を聴く機会の充実、行政への提言力の強化につなげていくことが大切です。

今後も議会サポーターの皆さんからの意見を参考に、議会だよりやYouTube配信の改善、議会活動の見える化、町民に開かれた議会づくりを進めていく必要性を実感しました。

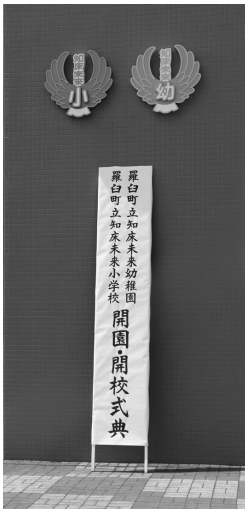
第三回議会サポーター会議は役場内で開催され、サポーター五名、議員八名が出席しました。会議では、「旧春松小学校の活用方法」をはじめ、「水道水の将来」「羅臼高校の今後」「広報や議会だよりのあり方」など、町民生活に関わる幅広いテーマについて、多角的な視点から活発な意見交換が行われました。

羅臼町立知床未来幼稚園 羅臼町立知床未来小学校 開園・開校式

令和八年六月三十日、羅臼町立知床未来幼稚園・羅臼町立知床未来小学校の開園・開校式典が執り行われ、多くの来賓や保護者、地域住民が新たな学び舎の誕生を祝いました。

式典では、歌手の加藤登紀子さんが登場し、自身が作詞作曲を手がけた園歌・校歌を披露され、園児・児童たちが元気いっぱいに歌い上げました。

歌声と笑顔あふれる開園・開校式典は、羅臼町の新たな教育の歴史を刻む記念すべき一日となりました。



羅臼町立知床未来幼稚園 園歌

知床未来幼稚園の歌　もしも空を飛べたら　作詞作曲　加藤登紀子

一、もしも空を飛べたら
山の向こうに行きたい
もしも海を泳げたら
イルカの背中に乗りたい

二、もしも夜明けになれたら
大きな太陽になりたい
もしも雲に乗れたら
虹のリボンを投げたい

三、もしも夕日が沈んだら
星の首飾り作りたい
もしも夢を見たら
そっと誰かに教えたい
そっと誰かに教えたい

羅臼町立知床未来小学校 校歌

知床未来小学校 校歌　天までとどく歌　作詞作曲　加藤登紀子

一、午前4時の空を 知っている
朝陽が昇る前の 青い空
赤く燃える太陽が 顔を出す
海いっぱいに光って 朝が始まる
羅臼の港から 海にこぎ出す
高らかな 漁船(ふね)の音が
僕らの朝の 音楽

二、森も山も海も 命いっぱい
みんないっしょに 生きている
イルカもシャチもクジラも
エゾシカもヒグマも フクロウも
みんなヒーロー
羅臼の 野原を 風に向かって
走って行くよ どこまでも
地球の音を聴きながら

三、春も夏も秋も 美しい
凍りつく冬は 特別さ
海の向こうから 流氷が
真っ白な海に 広がって行く
羅臼の 山は 空に向かって
大きな声で うたっているよ
天までとどく歌

羅臼の 僕らは 明日に向かって
大きな声で うたっているよ
天までとどく歌
天までとどく歌
天までとどく歌

北海道町村議会議員研修会

令和八年七月二日に、羅臼町議会議員八名が、札幌市内にある「札幌コンベンションセンター」において、「北海道町村議会議員研修会」に出席しました。

会場には約二千名の町村議会議員等が集まり二名の講師による研修を受講し、それぞれの専門的な知見に基づく講義を通じ、知識の習得と理解の深化を図ることができました。

議会 YouTube を観てみよう！

ステップ１

チャンネルホーム画面

羅臼町議会 YouTube チャンネルを検索（「羅臼議会」等）するか、左の QR コードをスマホのカメラで読み込みます。

チャンネル登録

←スマホの方はアプリ内左上の検索マークに「羅臼議会」と入れて検索をしてください。

ステップ２

興味のある定例会の内容をご覧いただけます。

１日目フルバージョン

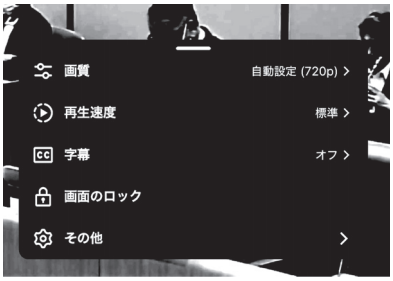
３日目フルバージョン

一般質問切り抜き動画

上の３つは今年の６月に作成した動画です。

ワンポイントアドバイス

① 画面に触れると歯車のマークが出るのでそれをタップ。（パソコンは左下にあります。）



② 「再生速度」の標準>をタップします。

③ 動画の速さを 1.25~1.5 に変更する。

再生速度をあげることで、スムーズに視聴することが可能になりますので、ぜひお試しください。

議会の動き　令和８年５月～７月

月　日	行　事	出 席 者
５月11日	根室北部消防組合臨時議会	議長・副議長
13日	故郷らうす協力会総会	議長
14日	羅臼町連合町内会総会	議長
15日	羅臼町商工会通常総会	議長
17日	東京らうす会総会（東京都）	議長
21日	令和８年第２回臨時会	議員10名
21日	行政と議会議員との懇談会	議員９名
22日	羅臼町議会議員ＯＢ会総会	議長
26日	全国町村議会議会議長・副議長研修会（東京都）	議長・副議長
29日	一般社団法人知床羅臼町観光協会通常総会	議長
31日	羅臼消防団春季総合訓練大会	議員10名
６月１日	北方領土復帰期成同盟根室地方支部通常総会（根室市）	議長
１日	根室地方総合開発期成会定期総会（根室市）	議長
１日	根室教育振興会総会（根室市）	議長
９日	北海道町村議会議長会定期総会（札幌市）	議長
11日	議会運営委員会	議員６名
16日	令和８年第２回定例会（１日目）	議員10名
17日	経済文教常任委員会	議員５名
17日	総務民生常任委員会	議員５名
18日	令和８年第２回定例会（２日目）	議員10名
18日	行政と議会議員の懇談会	議員10名
24日	サポート会議	議員10名
26日	広聴広報常任委員会	議員６名
30日	羅臼町立知床未来幼稚園・羅臼町立知床未来小学校開園・開校式典	議員10名
７月１日	根室地方総合開発期成会要望活動（札幌市）	議長
２日	根室地方総合開発期成会要望活動（東京都）	議長
２日	北海道町村議会議長会主催議員研修会（札幌市）	議員８名
13日	サポート会議	議員10名
14日	北海道議会北方領土対策特別委員会の道内調査の実施	議長

外国人労働者レクリエーション

六月十四日(日)に、羅臼町民体育館（らうすぽ）にて、第二回羅臼町外国人労働者レクリエーションが開催されました。

八十七人の外国人労働者が参加し、スポーツ交流会では綱引きを行いました。

十チームに分かれ一チーム八～九人、トーナメント制で戦い、優勝チームには一人二千円分の商品券がもらえるので、各チーム本気モードで綱を引き合いました。

特にインドネシア人は、母国にも綱引きの競技があるとのことで、綱の引き方が日本人以上に力強い方もおりました。昨年のバドミントンやサッカーとは違い、男女皆が一緒に大きな声を出しての戦いは、見ているこちらも力が入る思いでした。

午後からはお昼ご飯を食べながらビンゴ大会・ジャンケン大会を行いました。どんな景品が当たっても大喜びで、外国人同士が笑い合いながらもらった景品を仲良く見せ合う姿は、とても心が和む光景でした。

第一回と第二回は、実行委員会が主体となり事業主から寄付金と参加料をご負担いただいているのと、ツルハ・ニコット・セイコーマートなど外国人労働者が買い物で利用している町内の業者さんからも寄付をいただき運営をしてきましたが、今後は羅臼町が中心となり外国人に羅臼町が楽しい町だと思っていただけるレクリエーションを企画してくださることを願っております。

□発行／羅臼町議会　□編集／羅臼町議会広聴広報常任委員会　TEL 0153(87)2180　http://www.rausu-town.jp/